

8月5日～6日の気象情報

8月5日（日）

- 12:15 竜巻注意情報発表（以降7回発表）
- 13:22 洪水注意報発令
- 14:02 大雨警報（土砂災害）発表、洪水注意報継続
警戒1号配備
- 14:25 山形県土砂災害警戒情報発表（以降14回発表）
- 14:27 洪水注意報から洪水警報に切り替え、大雨警報（土砂災害）継続
- 14:42 大雨警報（土砂災害）に（浸水害）追加
- 19:48 大雨警報（土砂災害・浸水害）から大雨警報（土砂災害）に切り替え
- 22:06 大雨警報（土砂災害）に（浸水害）追加
- 22:56 警戒2号配備へ移行

8月6日（月）

- 1:14 大雨警報（土砂災害・浸水害）から大雨警報（土砂災害）に切り替え
- 8:14 洪水警報から洪水注意報に切り替え
- 8:27 山形県土砂災害警戒情報解除
- 9:57 大雨警報（土砂災害）から大雨注意報に切り替え

町内の被害情報（9月10日現在）

【町管理施設】

- 道路 崩壊・路面流出等35路線
推定被害額 1億4,081万円
- 河川 護岸決壊等5河川
推定被害額 292万円
- 河川公園 1箇所
推定被害額 850万円

【農地・農業用施設】

- 水田・畑 畦畔崩落等85箇所
推定被害額 8,020万円
- 水路・ため池・農道 土砂流入等63箇所
推定被害額 5,495万円



ひと月に2度も—— 町を襲った集中豪雨

2018.8.5-8.6

2018.8.30-8.31

平成30年8月、金山町は2度の集中豪雨に見舞われ、町内各地で大きな被害を受けました。
この記録的な豪雨被害を忘れずに次世代へつなぐため、町内に残された傷痕を写真で伝えます。



8月5日から6日にかけて、山形県北部を中心に記録的な大雨に見舞われました。これは、停滞した前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、大気が非常に不安定な状態となったため。金山町の上空にも、発達した雨雲が次々と通過し、落雷をともなう大雨となりました。

24時間降水量は312・5ミリと、観測史上最大を記録。その結果、土砂崩れ等による県・町道5路線での一部通行止め、床下浸水11箇所、そのほか護岸決壊や河川洗掘、農地や林道への被害など町内各地に甚大な被害をもたらしました。幸い人的な被害はありませんでしたが、経験したことのない雨に恐怖を感じた方もいらっしゃるのではないかと思います。

追い打ちをかけるように降り続いた8月30日夜からの豪雨。1時間に50ミリを超える雨を観測しました。ようやく復旧した被害箇所も振り出しに戻される事態も…。町を襲った記録的な豪雨からの完全な復旧には、相当な時間を要すると考えられます。

1_旧林業センター付近で直径6mの落石。今なお町道松の木樹沢線をふさぐ 2_路面の冠水により倒木したとみられる 3_各地で畦畔が崩落。農地にも多大な被害をもたらした 4_流木の堆積が原因で川が閉塞。床下浸水も 5_上台川の増水により護岸が崩落。町道竹林線にも影響が 6_町道中の森線での倒木・転石 7_町内のあちこちで水路が決壊。土砂とともに水田へ流入した箇所も 8_水路に堆積した土砂の撤去作業 9_町道岩円線での倒木・転石 10_上台川（下野明地内）の一部で約20mにわたり護岸が崩落

この経験が防災力に 未来に備えて今を守る――

金山町を襲った豪雨。災害の少ない町だと油断していた方も多いかもしれません。このような大雨は経験したことがない、という声が多く聞かれたことも事実です。全国各地では、毎年のように「数十年に一度の災害」が発生しています。いつどこで大災害が起きても不思議ではありません。もちろん金山町においても同様。何が起こるか分からない未来に備えて、今できることから始めませんか？



最上広域消防本部
金山支署長 早坂敏 消防司令官

金山町でも大災害が起こり得る可能性があると認識することが防災の第一歩です。テレビや行政放送などから避難を促す情報は得られますが、早期の避難行動を行うのは住民自身の判断。常日頃から自分の住む地区の特徴と避難経路・避難場所をハザードマップ等で把握することにより、自分の命を守ることに繋がります。

急激な災害現象に対応するため、そして命と生活を守るため、公助のみならず自主防災（自助）、地区防災（共助）が必要不可欠。もう一度、緊急連絡先や非常持ち出し品などを確認し、家庭や地域の防災に活用して自然災害に対応していくことが重要です。

Interview



田茂沢区長
佐藤忠義さん

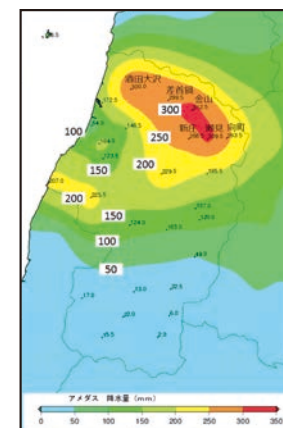
「大丈夫だろう」と思わず 警戒する意識を

8月5日から6日にかけての大雨で、田茂沢地区では土砂崩れや道路の冠水、床下浸水など多くの被害が確認されました。避難の必要があると判断し、5日の22時30分頃に地区公民館を開放。各世帯に呼びかけ、河川に近い2軒が自主的に避難しました。しかし「まさか自分の住む場所で…」と、どのように行動すべきか分からなかった方がほとんど。防災力を高めるには、まずは災害を「自分事」と捉えることが重要だと

感じました。

町内で通行止めが発生したため、地区内を通る県道が迂回路となりました。また、地区内では道路閉塞により孤立した世帯も。災害を受け、道路の重要性も改めて認識しました。

今は情報を簡単に得ることができる時代。雨雲レーダーなどを見れば事前予測も可能です。この経験を糧に、災害への危機意識を高めていきたいと思います。



◀8月5日6時から6日18時までの総降水量を表した降水量分布図。当町は全国で最大の降水量を記録した。

公助のみならず 自助・共助の意識が重要

8月に集中的かつ局地的な豪雨による水害が金山町を含む最上管内で多数発生しました。消防署金山支署としては、夜間と朝方に町内を見回りし、町と連携しながら被害状況の把握や有事に備えての活動を行いました。

2度の豪雨はともに夜間。外が暗いうちに直接被災現場を確認することはとても危険。決して河川や水路に近づいてはいけません。また、被害全体の把握は無理でも、危険箇所の音などで状況は判断できます。「いつもとちよつと違うかも…」と少しでも感じたら、早めに避難するのが賢明です。

① 各地区避難訓練



各区長から避難人員などが報告された

② 初期消火訓練



一般家庭を想定し女性や中学生も参加

③ 火災防ぎょ訓練



消防団第8・9分団による一斉放水

④ 応急処置訓練



ケガの応急処置法やAEDの操作を体験

⑤ 防災発表会



東郷地域6地区が危険箇所などを発表

⑥ 食糧供給訓練



非常食「アルファ化米」を提供

いざという時に行動できるように 町総合防災訓練を実施

行政情報メールへご登録を！

災害発生時などに情報を迅速にお伝えするため、町では行政情報メールを配信しています。右のQRコードを携帯電話のバーコードリーダーで読み取り、ご登録をお願いします。



◎お問い合わせ：総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

もう一度ご確認を！

各地区の危険箇所や避難所のほか防災に役立つ情報を掲載しています。この機会にもう一度ご確認ください。

